



2026年(令和8年)

1月2日金曜日

# 青学大 往路3連覇



トップでゴールした青山学院大・黒田朝日（2日午後、神奈川県箱根町で）＝木佐貫冬星撮影

第102回東京箱根間往復大学駅伝競走（関東学生陸上競技連盟主催、読売新聞社共催）は2日、東京・大手町の読売新聞社前から神奈川県箱根町の芦ノ湖駐車場入り口までの5区間、107・5キロで往路が行われた。青山学院大が5時間18分8秒の往路新記録で、3年連続8度目の往路優勝を果たした。早稲田大が18秒差の2位、中央大が3位に入った。

青山学院大は1区16位と出遅れたが、2区11位、3区8位、4区5位と順位を上げ、5区の黒田朝日（4年）が区間新記録の力走で4人を抜き、トップと3分24秒差を逆転した。

早稲田大は4区鈴木琉胤（1年）が区間賞の走りで2位に浮上、5区工藤慎作（3年）が一時首位に立つたが、猛追する黒田に逆転を許した。中央大は3区でトップに立つたが、5区で早稲田大、青山学院大に抜かれた。4位は国学院大、5位城西大、6位順天堂大、7位駒沢大、8位創価大、9位日本大、10位東海大だった。（記録は速報値）

# 5区黒田 区間新で4人抜き